

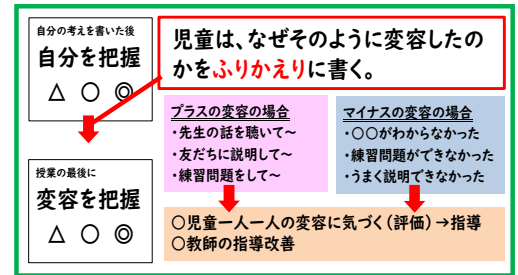
令和5年度 金沢型学習スタイル実践推進事業 報告書

| | | |
|------------|---------|---------------|
| 金沢市立杜の里小学校 | 重点課題推進校 | 教科一般（学習評価の充実） |
|------------|---------|---------------|

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点1 自らの学びの変容を自覚するための手立て

児童の学習意欲を高め、主体者として学習に取り組むためには、児童が自らの変容に気づいたり、その変容の要因が何かを明確にしたりすることが必要であると考えた。そこで、学習の中で児童が自らの変容を自覚するための手立てにはどのようなものがあるのか、研究授業や学年会での協議を通して、その指導と評価の工夫を積み上げてきた。



(2) 重点2 自らの学習を調整しようとするための手立て

単元及び45分の授業を通して、児童のふりかえりや自己評価を次の学習に生かすための手立てを研究・実践を行ってきた。また、児童のふりかえりや自己評価を、学習指導や授業改善に生かすための手立てについての研究・実践にも取り組んだ。

2 取組の検証

教職員アンケートでは、「書くことやふりかえりを通して、思考力・判断力・表現力等を身につけるための具体的手立てを実践している」の肯定的回答は92.5%、「学年会・全体研究会等では、指導力向上に資する協議が行われている」の肯定的回答は98.6%であった。この結果から、学校研究について同じベクトルで研究を進めることができていると考えられる。後期児童アンケートでは、「学習課題に対してすすんで考え、取り組んでいますか」に肯定的回答をした児童の割合は91.3%であった。今年度前期の同項目への肯定的回答は89.6%であり、0.7ポイントの増加が見られた。研究の重点を中心に、年間を通して教職員で協議を重ね、児童自らが主体的に学習に取り組む姿を目指し、全校で取り組んできた成果といえる。

| No | 質問内容 | R5(後期) | R5(前期) |
|----|------------------------|--------|--------|
| 1 | 今、学校に通うのが楽しい | 89.1% | 88.3% |
| 2 | 学校で好きな授業がある | 93.7% | 94.8% |
| 3 | 授業で困ったことがある | 83.2% | 76.4% |
| 4 | 学習課題に対して自ら考え、取り組む | 91.3% | 89.6% |
| 5 | 自分の考えや根拠をわかりやすく書く | 81.8% | 83.0% |
| 6 | 相手の考え、根拠を最後まで聞き、考えを伝える | 82.0% | 80.5% |
| 7 | 話し合う活動を通して考えを深める広げる | 85.1% | 85.3% |
| 8 | 学習内容を振り返る活動をよく行う | 83.7% | 86.5% |

3 成果と課題

- 児童が学習の主体となるように「変容の自覚」、「学習の調整」の2つの手立てを全教職員で実践し、それを共有することで研究を積み上げることができた。
- 学習の振り返りに対する児童の肯定的実感がまだ弱い傾向が、児童アンケート「授業で学習内容を振り返る活動をよく行っていますか」の肯定的回答が83.6%という結果から見て取れる。教師からの価値付けや児童の自己評価・相互評価を通して、児童が振り返りを通して学びの実感をもつことができる「指導と評価」の工夫が必要であると考ええる。